

英語専攻科

科目名			
英語基礎演習(英文法)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	4単位	2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
<p>基礎力養成には、中学・高校の英語テキストの活用が効果的です。「聴く・話す・読む・書く」の4つのスキルを身につける際に必要となる基本文法の習得を目指し、「使える英文法」を身に付けます。又、英文を英語の語順のまま理解できるように、例文を音読しながら発信（口頭、文書）へ効果的に応用できるようにします。1年次に英語の基礎力となる英文法を身につけて、自分の言いたい事や意見を自由に伝えられる「使える英語」の基礎力の習得を目指します。</p>			
科目内容			
<p>英文法は、名詞、形容詞、動詞、文型、時制、疑問文、助動詞、不定詞、比較級、副詞などの基礎的な文法事項を取り扱う。「読む」「書く」「話す」に応用できる基礎的なボキャブラリーを身に付ける。テキストを使いながら、各文法項目について例文を覚えて習得する。ボキャブラリーは、文章だけでなく、音でも聞き取れるように、毎回、英文の聞き取りテストを実施して定着させる。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	<p>Advanced: 『Harvest English Grammar Green Course in 25 Lessons』 桐原書店編集部 編著（桐原書店）</p> <p>Intermediate: 『Harvest English Grammar Red Course in 20 Lessons』 桐原書店編集部 編著（桐原書店）</p> <p>Basic: 『マーフィーのケンブリッジ英文法（初級編）』 Raymond Murphy(著)、高橋 幸子(翻訳)</p>		

科目名			
英語基礎演習(リーディング)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	4単位	2単位/学期×2学期	日本語・英語
科目のねらい			
<p>基本的な英文の読み方や英語の構文も理解して、英語を英語の語順のまま理解できるようにします。リーディングスキルを身につけながら同時に単語力も速読力を習得してリーディングスキルを強化します。</p>			
科目内容			
<p>基礎的な語彙力・読解力の習得を目指しながら、同時に読解に必要な文法事項を習得します。英語の語順に従って意味のまとまりで英文を理解しながら、速読の力を身につけます。読解演習を中心としますが、必要に応じて文法事項の確認を行い、音読の訓練（スラッシュリーディング・シャドウイング）も取り入れます。</p>			
成績評価	テキスト	備考	
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	<p>Advanced: 『スキル総合型：英作文トレーニング Read to Write』 野田 小枝子著(朝日出版社)</p> <p>Intermediate: 『コミュニケーションのためのバイシク・グラマー』 山本厚子著（成美堂）</p> <p>Basic: 『読んで身につく基本文型100』 Joan McConnell, 武田 修一著（成美堂）</p>		

科目名			
英語基礎演習(英作文)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	4単位	2単位/学期×2学期	日本語・英語
科目のねらい			
英語で自分の言いたいことをきちんと発信できるように英語らしい文章を書く力を身につけます。同時にそれらを活用してスピーキング力を付けながら英文ライティングスキルの習得をめざします。			
科目内容			
<ul style="list-style-type: none"> ●基本的な文の構成と文脈に適した正しい文法表現を書きながら身につけます。 ●動詞、名詞、形容詞などの使い方、文脈や状況に適した語彙・表現など、自然な英文を作成するために必要な項目を学習します。又、ライティングの基礎となる文法力の強化をします。 			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	Advanced:『基礎からはじめる英作文』福井慶一郎著(成美堂) Intermediate:『日常英語ライティング入門』登美博之著(成美堂) Basic:『ヒント・例文で学べる英作文ドリル』鈴木卓著(松柏社)		

科目名			
TOEICスピーキング&ライティングテスト			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	10単位	2単位/学期×1学期 4単位/学期×2学期	英語
科目のねらい			
TOEICスピーキングテスト/ライティングテストは、グローバル社会において、効果的に英語でコミュニケーションをするために必要な発進力(話す、書く)の能力を測定するテストです。通常のTOEIC(リスニング・リーディング)とこのスピーキングテストとライティングテストを実施することで、TOEICテストで4つの英語能力(リスニング、リーディング、スピーキング、ライティング)のすべての能力を具体的に測定します。			
科目内容			
英語の「発信力」を強化する為に英語専攻科では通常のTOEICテストの他にTOEICスピーキング&ライティングテストも全員が受験します。この授業では、その為の対策を行ないながら英語での発進力を強化します。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・期末試験・発表60%	『頂上制覇 TOEICテストスピーキング/ライティング究極の技術』ロバートヒルキ著(研究者)		

科目名			
ディベート&プレゼンテーション			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	4単位	2単位/学期×2学期	英語
科目のねらい			
ディベートやプレゼンテーションのトレーニングを通して、自分の考えや意見を的確に伝えられるようにする。			
科目内容			
自分の意見を適切な語句を用いて表現する練習をしながら、様々なトピックスを題材にして英語でディベートをしたり、プレゼンテーションをする。各ディベートやプレゼンテーションの前にはテーマに関連した教材を読み、必要な用語や表現を学ぶ。ペアを組んでの会話練習や小さなグループに分かれてのディスカッションを行い、プレゼンテーションの台本の作り方を学びながら、それに基づいて発表をする。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%、受講態度20%、発表内容60%	Advanced&Upper 『Great Presentations2』H. Bartelen他著(R. I. C. Publications)、 Lower 『Great Presentations1』H. Bartelen他著(R. I. C. Publications)		

● 通訳専攻科目

科目名			
通訳演習 (1)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	5単位	1単位/学期×1学期 2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
通訳技法の基本スキルをもとに、ビジネスでの接待通訳や社内通訳等、実践的な通訳場面に対応できる実践的な通訳スキルを習得する。			
科目内容			
①通訳トレーニングで必要とされる英語の高度の運用能力（リスニング、スピーキング）や日本語の説得力ある語法を習得する。 ②話し手の要点と考えを正確に迅速に把握する能力や英語と日本語の置換技術などの総合的な通訳のスキルを身につける。 ③実践的な音声教材やビデオ教材を用いて、長文のシャドーイング、ディクテーション、メモ取り、要点把握、原文再生、概要通訳、逐次通訳等の訓練をする。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%、小テスト20%、受講態度20%、 期末試験40%	All Level:『トレンド日米表現辞典』(小学館) 『CNN English Express』(朝日出版社)		

科目名			
通訳演習 (2)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	5単位	1単位/学期×1学期 2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
通訳技法の基本スキルをもとに、ビジネスでの接待通訳や社内通訳等、実践的な通訳場面に対応できる実践的な通訳のスキルを習得する。			
科目内容			
①同時通訳のシュミレーションを通して、クイックレスポンスの演習を行う。 ②最新のニュースやトピックスを取り上げながら、講義よりも演習に重きを置き、通訳トレーニングを行う。 ③色々な通訳の場面を想定し、シュミレーションを何度も繰り返しながら、一人一人が同時通訳の演習を行う。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	All Level:『トレンド日米表現辞典』(小学館) 『CNN English Express』(朝日出版社)		

● 翻訳専攻科目

科目名			
翻訳演習 (1)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	5単位	1単位/学期×1学期 2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
「基礎翻訳演習」を基礎にして、より実践的な翻訳技能を身につける。			
科目内容			
英語で書かれた書籍を日本語に翻訳する「出版翻訳」や、企業などの業務で必要とされる文書を日本語から英語に英語から日本語に訳す「実務翻訳」、そして新聞・雑誌などの紙媒体から映画、テレビ、インターネットなどの書籍以外の媒体を翻訳する「メディア翻訳」などの翻訳スキルを習得する。日本語の使い方にも注意を払うことで表現力も身につけていく。講義よりも演習に重きを置いた授業で、実践力を養う。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%、小テスト20%、受講態度20%、 期末試験40%	1年次:『翻訳入門—英日編』中林 眞佐男他 共編著 (大阪教育図書) 2年次:『Practical Skills for Better Translation』(マクミランランゲージハウス)		

科目名			
翻訳演習 (2)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	5単位	1単位/学期×1学期 2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
英文読解力の養成や、日本語表現力の養成、また、英語の背景にある考え方の理解を目標とし、新聞記事、雑誌、シナリオ、スピーチなど多種多様な英文の翻訳ができるようにする。			
科目内容			
1年次の「基礎翻訳演習」で得た翻訳技法の演習を中心に、国内や国際問題で注目を集めている出来事に関するニュース記事、論評を教材にして、政治経済、文化、社会、科学技術等の各分野における日英翻訳の実践演習を行う。履修者は毎回与えられた課題の翻訳文を提出する。講義よりも演習に重きを置いた授業で、実践力を養う。			
成績評価	テキスト		備考
出席状況20%・小テスト20%・受講態度20%、 期末試験40%	1年次：『翻訳入門—英日編』中林 眞佐男他 共編著（大阪教育図書） 2年次：『Practical Skills for Better Translation』（マクミランランゲージハウス）		

● 英語ビジネスキャリア専攻科目

科目名			
ビジネス・キャリア開発			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	5単位	1単位/学期×1学期 2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
卒業後に、国内、海外の企業・外資系企業のビジネス現場で通用する自立型人材の育成。			
科目内容			
①キャリア・ビジョンを明確にし、それを実現するための方法・手段＝戦略を持つ。 ②進みたい仕事の明確な方向性を自分自身で設計し、行動プランを立てる。 ③国際化社会で自己啓発をはかれる人材の育成。 資料収集、情報提供のプレゼンテーション。キャリアとビジョンについてはワークシート提出。			
成績評価	テキスト		備考
出席率20%、小テスト20%、課題提出30%、発表20%、授業貢献10%	プリント		

科目名			
ビジネス英語演習			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	5単位	1単位/学期×1学期 2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
あらゆるビジネスシーンを想定した会社の英語表現の習得。			
科目内容			
①ビジネスレター作成上必須の英文法をマスターし、英文が作成できる。 ②ビジネスシーンにおける適切な会話ができる。 ③e-mail作成が正しくできる。 想定したビジネスシーンに合わせてストーリーを展開、それを基に英語表現を考えさせる。タスクベース方式にて行う。			
成績評価	テキスト		備考
出席率20%、小テスト20%、課題提出30%、発表20%、授業貢献10%	『やさしく書ける英文ビジネスEメール・レター』松尾 裕一、増澤史子著（語研）		

● 大学編入専攻科目

科目名			
英語集中演習			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	5単位	1単位/学期×1学期 2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
それぞれの志望する大学に合格できる英語の総合力を身につける。			
科目内容			
神田外語大学及び他大学の編入試験に合格する為の英語力を強化する為にレベル別にクラスを編成して授業を実施。徹底的な演習を繰り返すことで、文法・長文読解・和訳・英訳の演習を基礎から上級レベルまで行う。			
成績評価	テキスト		備考
出席20%、小テスト30%、学期末試験50%	A～C組：『TOEICテスト 新公式問題集 Vol. 5』（財）国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC運営委員会発行 『新TOEIC(R) TEST出る順で学ぶボキャブラリー990』神崎 正哉著（講談社） E・F組：『Next Stage英文法・語法問題』瓜生 豊、篠田 重晃 編集（数研出版） 『基礎と発展 英語構文ワーク100』CHART INSTITUTE 編（数研出版）		

科目名			
大学編入試験対策			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	5単位	1単位/学期×1学期 2単位/学期×2学期	日本語
科目のねらい			
小論文の書き方・面接の受け方など、大学編入試験に備えた十分な対策を行う。			
科目内容			
①専門学校からの大学編入の利点・欠点を理解し、編入に向けての有効な計画を立てることが出来る。 ②日本語小論文の内容構成要素やパターンを理解し、それに基づいて小論文を書くことが出来る。 ③日本語面接対策として、自分の考えをまとめ、例話を添えながら分かりやすく構成して話すことができる。 授業は講義形式で、小グループ活動を交えて行う。			
成績評価	テキスト		備考
出席率20%、小テスト20%、課題提出30%、発表30%	『大学編入・大学院入試合格！論文の書き方』（中央ゼミナール） 『基礎からベストex.小論文』（学研マーケティング）		